

山口県

ソーシャルビジネス

創業事例集

山口県



## 山口県ソーシャルビジネス創業事例集

令和2年8月発行

発行 山口県環境生活部 県民生活課  
〒753-8501 山口県山口市滝町1-1  
TEL : 083-933-2614

企画編集 NPO法人やまぐち県民ネット21  
〒753-0093 山口県山口市大殿大路 135-2  
TEL : 083-921-2437

## ソーシャルビジネスとは

様々な社会的課題(高齢化問題、環境問題、次世代育成など)を市場としてとらえ、収益を上げながらその解決を目指す事業を言います。

### 社会性

解決が求められる社会的課題に取り組むことを事業活動のミッション(果たすべき使命)とすること。

### 事業性

ミッションをビジネスの形に表し、継続的に事業活動を進めていくこと。

### 革新性

新しい社会的商品・サービス及び提供するための仕組みを開発したり、活用したりすること。また、その活動が社会に広がることを通して、新しい社会的価値を創出すること。

## 「山口県ぶちええソーシャルビジネスプランコンテスト ぶち-CONやまぐち」

山口県では、ソーシャルビジネスの先駆的モデルを構築し、全県的な波及を目指すため「山口県ぶちええソーシャルビジネスプランコンテスト ぶち-CONやまぐち」を、2017年度から3年間開催しました。3年間で合わせて86者応募があり、各年度それぞれグランプリ1者、準グランプリ2者、奨励賞2者が選ばれました。

受賞者には、創業支援金(補助金)の交付や、無料での専門家相談が受けられるなど創業に向けて県が全力でサポート

公開2次審査では、県内で活躍するソーシャルビジネス実践者や支援者との交流も生まれました



コンテストの様子

### 2017年度

グランプリ 大道 竜士「草衣 so-i」

準グランプリ 新名 文博「株式会社 海耕舎」

準グランプリ 中谷 咲良「和 咲良」

奨励賞 末永 光正「百壱姓カンパニー」

奨励賞 川間 弘子「虹とおひさま」

### 2018年度

グランプリ 伊藤 富美恵「田舎のパン屋」

準グランプリ 白松 博之「NPO法人やまぐちオリーブ協会」

準グランプリ 津田 祐介「トゥクトゥクカフェ」

奨励賞 中西 恒治「むかつく直産市ここや」

奨励賞 長畠 麻欣子「machi-mori有限責任事業組合」

### 2019年度

グランプリ 金子 淳子「かねこキッズクラブ」

準グランプリ 田立 智曉「有限会社 天請」

準グランプリ 村上 忍「Happy Education」

奨励賞 岡本 智之「彦六又十郎」

奨励賞 中岡 佑輔「kizuku project」

## 目 次

### page

- 2 | 「山口県ぶちええソーシャルビジネスプランコンテスト ぶち-CONやまぐち」とは
- 3 | 2017年度、2018年度ぶち-CONグランプリ
- 5 | 2017年度、2018年度ぶち-CON準グランプリ
- 7 | 2017年度、2018年度ぶち-CON奨励賞
- 8 | 山口県ソーシャルビジネス連続セミナー開催報告
- 9 | 2019年度ぶち-CON受賞者紹介



# 2017

年度 グランプリ

## 藍染の工房がつながりを生み出す

地域の自然環境に  
負担の少ないモノづくり

そ う い  
屋 号 草衣 so-i

氏 名 大道 竜士

活動地域 防府市富海



### グランプリを受賞して

休耕田で栽培した藍や綿花を使って、古着の染め直しやオーダーメイドの服作りを行うことで、衣服の寿命を延ばし、廃棄される衣服が減るよう活動しています。また、染織ワークショップを通して地域の子どもたちとのつながりを創出しています。

受賞により様々な専門家の方と話をする機会を得ることができました。おかげで事業を継続できるように形作ることが可能になったのだと思います。ぶち-CON 参加者との情報共有や交流も支えになりました。

### Comment

現在、藍を使った家具作りや店舗内装など、他業種の方々との関わりで仕事の幅が広がってきています。また、大学での講義や小学生へのワークショップで本物の「藍」を伝えていく活動も増やしていくたいと考えています。ソーシャルビジネスでは「自分の視点で地域を見る」ことが大切だと思います。私は藍染を通して地域を見ました。皆さんもぜひ、自分だけの視点で見て、自分だからこそできることを見つけ実践してほしいと思います。



# 2018

年度 グランプリ

## 焼きたてパンが地域を変える

高齢者や障がい者の活躍の場に

屋 号 田舎のパン屋

氏 名 伊藤 富美恵

活動地域 山口市阿東



### グランプリを受賞して

NPO法人ほほえみの郷トイトイと連携して、焼きたてパンを週2日、店頭及び移動販売で地域内に提供しています。パン作りの楽しさで人と人をつなげていきたいとの思いで、パン作り体験会の開催も。今後、高齢者や障がい者の雇用を進めていく予定です。

自分の思いや考え方に対する評価をいただけたのだと事業に対して自信が持てました。受賞によりテレビや新聞などから取材があり、多くの方に知ってもらえた感覚を得られたのも嬉しかったです。

### Comment

ソーシャルビジネスとしての「田舎のパン屋」を知ってもらい、出張販売やパン教室で担い手を増やしていきたいです。また、パンを購入することで誰でも地域課題の解決に参画できることも伝えていけたらと思います。

ぶち-CON で自分の考えを客観的に評価してもらい、確認することができました。これからソーシャルビジネスを始めたいという方は、「自分が地域の為に何ができるか」を軸にぜひ自分自身がワクワクするビジネスを考えもらいたいです。



# 2017

年度 準グランプリ

## ムラサキウニの駆除を体験型観光事業に 多様な人が協同するムーブメントを起こす

屋号 株式会社 海耕舎  
かいこうしゃ

氏名 新名 文博

活動地域 下関市豊北

URL <https://www.kaikousha.org/>

ムラサキウニの駆除に加え、クリアカヤックや水上サイクリングなどの体験型観光事業も展開し、海岸清掃や漂着ごみ回収につなげています。豊北町の水辺以外にも、空き家の活用など、地域課題の解決に向け活動を拡大中です。



## 食事もできる放課後寺子屋

共生・互助のコミュニティを目指して

屋号 和 咲良  
さくら

氏名 中谷 咲良

活動地域 宇部市東須恵

URL <https://www.facebook.com/nakatani.sakura39/>

受賞を機に開業した食堂とその収益で、放課後留守宅児童や孤独になりがちな高齢者に楽しく学び過ごせる場を提供し、貧困対策等にも取り組みました。確かな手ごたえがありましたが、多くの課題にも直面しています。これからも、地域共生社会を目指して新たな互助の仕組みを模索し、実践していきます。



# 2018

年度 準グランプリ

## 耕作放棄地で可能性を育てる

新しい栽培技術を活用したオリーブで地方を元気に

屋号 NPO法人 やまぐちオリーブ協会  
やまぐちオリーブ協会

氏名 白松 博之

活動地域 阿武郡阿武町

URL <https://tetsu-ya.wixsite.com/yamaguchi-olive>

耕作放棄地を活用し 2019 年に無農薬栽培のオリーブを定植し、2020 年秋を目標にオリーブオイルの生産技術を研究開発中です。産業としてのオリーブを日本で根付かせていくとともに、地域活性化も狙って活動しています。



## TukTukで地域商品をPR

乗り物で生まれるコミュニケーション

屋号 トウクトウクカフェ

氏名 津田 祐介

活動地域 長門市

東アジアでタクシーとして利用される3輪車のTukTukで移動販売型のカフェを開いています。観光客向けに道の駅へ出店するだけでなく、地域のイベントにも積極的に関わり、地元の方と観光客をつなぐ試みを続けていきたいです。



# 2017

## 年度 奨励賞

### 仁保の豊かさをまるごと召し上がり

田舎体験、田舎との交流に価値を見出す

ひゃくいっしょ  
屋号 百壱姓カンパニー

氏名 末永光正 活動地域 山口市仁保

地域を元気にするため、キッチンカーで仁保の野菜を使った雑炊定食を提供しています。また、地元の高齢者を講師として県内外の子育て層向けに開催する田舎体験イベントも人気です。ぶち-CONを機会に思い切って事業を実行に移すことができ良かったです。



### 学習に困難を抱えている子どもたちのために効果的な学習教材と指導法の開発・販売

屋号 虹とおひさま

氏名 川間弘子 活動地域 防府市

URL <https://nijitoohisama.shop-pro.jp/>

認定NPO法人やまぐち発達臨床支援センターでの25年間の指導理論と実践をもとに、教材などを開発しました。指導マニュアルの動画も作成し、教材とセットでセミナーをしています。ぶち-CONで得た経営や税の専門的なアドバイスがとても役立ちました。



## 2018 年度 奨励賞

### 買い物先で広がる世界

交流拠点としての農・海産物直売所を開設

屋号 むかつくなまこや

氏名 中西恒治 活動地域 長門市油谷

2019年1月に地元の新鮮な農海産物を取り扱う直売所をオープンしました。地域の方の買い物先としての役割を果たすとともに、生産者であり消費者でもある地元の方と、地域外の方とを結ぶ交流拠点として賑わっています。



### 子どもたちの笑顔を地域へ

子どもの人口増加実現にむけて

まちもり  
屋号 machi-mori有限責任事業組合

氏名 長畠麻欣子 活動地域 周南市三丘

URL <https://www.facebook.com/tavernatabeta/>

子どもが一人で来ることができ、多世代と交流ができる拠点として、コミュニティカフェ「タベルナタベタ？」を2018年8月に開設しました。2019年には児童が運営をすべて行う駄菓子屋を開始。毎週土曜日に行う継続的な活動を通して、子ども達の明るい声がいつまでも聞こえる地域を目指します。



## ソーシャルビジネス連続セミナーを開催しました

2019年5月～6月に、山口県でのソーシャルビジネスの創業を支援するため、全5回にわたる連続セミナーが開催されました。「私の事業で地域をよくしたい」「みんなの困りごとの解決に挑戦したい」「一緒に活動できる仲間や資金を集めたい」と熱い思いを持った計30人の参加がありました。

中でも、県内で活動に取り組む先輩事業者への視察は、経験者の生の声を聞くことができ、大満足の2日間となりました。講師としてお話をいただいた先輩方にとっても、キラキラとした目で夢の実現を目指す新しい仲間との貴重な出会いとなったようです。



視察先1  
**周防大島 お寺カフェ**  
周防大島町油良587



視察先2  
**株オイシーフーズ**  
周防大島町土居1001-51



発信キッチン  
光市大字光井540番地の1  
光スポーツ公園内  
レストハウス1F



### 講師からのエール



長浜洋二 氏  
モジョコンサルティング  
合同会社代表  
<https://mojo.co.jp/>

ソーシャルビジネスセミナーも4年目となり、社会課題の解決に取り組むプレイヤーと事業をサポートする支援団体の連携など、山口県内で社会課題解決の生態系（エコシステム）が着実に構築されつつあるように思います。もはや社会課題は様々な要素が複雑に絡み合い、単独で解決できる時代ではありません。このため、多様な主体がそれぞれの強

みを出し合い、弱みを補い合いながら課題解決にあたっていく必要があります。立ち上げたソーシャルビジネスをさらに磨き上げ、さらに他者の行うソーシャルビジネスと相互接続させることで社会的なインパクトを最大化していくことが次なるステップです。皆さんのさらなるチャレンジを楽しみにしております。

# 2019年度受賞者にもご期待ください！



## グランプリ

### 学習支援や居場所づくりで未来を変える

経済的困窮などさまざまな理由で学習に困難を抱える子ども達に

屋号 かねこキッズクラブ

氏名 金子 淳子

活動地域 宇部市常盤町

URL <http://www.kaneko-kids-club.com/>

子ども達が健やかに育まれる環境づくりを目指して、学習支援+生活支援+余暇支援活動を実施しています。2019年11月からは週1回の学習支援に加え、中学3年生のみを対象とした受験対策学習支援をスタートしました。



#### グランプリを受賞して

「ファンドレイジング」について知る機会を得ることができ新鮮でした。ソーシャルビジネスの意義、ビジネスを「価値ある活動」にするための考え方を学ぶことができたことも良かったです。

「サスティナブルな社会」を突きつめると、子どもへの投資に行きつくと考えています。社会全体が子どもの育ちに目を向け、子育てを地域・社会でシェアする機運が高まるることを期待します。

## 奨励賞

### 地域そのものを料理する

地域の魅力を、地域と連携して発信する飲食店

屋号 彦六又十郎

氏名 岡本智之 活動地域 萩市

萩の恵みと田舎の風景を提供する飲食店を展開予定です。店名は地元を救った英雄からいただきました。彼らがかつたように、地域の恩恵のために動けたらと。店舗改修には想像以上に課題がありますが、妥協しない店作りをしていきたいです。



## 準グランプリ

### 観光拠点として機能する宿坊

人をつなげる癒しの空間

屋号 有限会社 天請

氏名 田立智暁 活動地域 長門市油谷

重要文化財を所蔵する「二尊院」において宿坊を開くために準備を進めています。心身ともにリフレッシュできる駆け込み寺 & 修行や自然体験などの観光拠点として展開し、地域活性化、地域資源の活用を狙っています。



### 学校が苦手な子ども達へ

地域団体と連携し学びの場の提供

屋号 Happy Education

氏名 村上忍 活動地域 山口市

URL <https://happy-edu.amebaownd.com/>

新しい学びの環境を整えるなど、大人も子どもも、ともに学び育み合える地域づくりをしています。孤立を防ぐことで、不登校問題に悩む方にも笑顔を届けたいです。



### 駆除した鹿皮を山口ブランドに

獣害対策をあえて強みに変えていく

屋号 kizuku project

氏名 中岡佑輔 活動地域 山口市

皮革関係の仕事経験を活かして地域課題である獣害対策に取り組み、駆除から革への加工、製品化と、全工程を山口にこだわった皮革製品を開発中です。今後はジビエのフードトラック、空き家対策としての民泊運営などにも活動を広げていく予定です。

